

新型コロナの再燃！

米国の大統領選はバイデンさんに当確が出ました(11/8)。トランプさんも前回より投票数が増えており、まだ負けたと意思表示はしていません。善戦はしましたが、コロナに負けたということでしょう。

11月7日現在、WHOの報告では、**世界の患者数は約4,900万人、死亡者は約120万人**ということです。医学が発達していると言っても、100年前の予防対策とそう変わらないのが、残念ながら現状です。

毎日のように米国やヨーロッパ各国の状況が報告されていますが、**数十万人ずつ増えており、フランスで非常事態宣言、イギリス、オランダ、ドイツ、イタリア、スペインなどでロックダウンが再び始まっています。**

日本も毎日1,000人以上の新規患者が増えており、いわゆる第2波が押し寄せてきた感があります。

一方、Go Toキャンペーンや海外への渡航中止勧告が段階的に解除される中、人の動きが活発化しています。

UNWTO(国連世界観光機関)は**世界の旅行者数が2019年の水準に戻るまでに、2.5~4年はかかると予測**しており、世界観光業の損失は約48兆6,000億円になるそうです。**BEACH**と呼ばれる産業は、その中でも大きな

影響を受けています。

B: ブッキングの予約サイト。一休、エクスぺディア、食べログ、グルナビ、イープラスなど。

E: エンターテインメント。コンサート、イベント、映画、スポーツ観戦など。

A: エアー。航空会社、国際線が90%以上の減少でJAL、ANAは冬のボーナスもありません。

C: カジノとクルーズ産業。

H: ホテル、観光産業。

その他、**百貨店**が厳しい。

アパレル業は大手5社だけで3,100店舗以上の閉店(オンワード700店、ワコール358店)。

ブライダル産業は3月~6月までに延期、キャンセルしたカップルが17万組も出たそうです。

パーティー、セミナー、趣味のサークルなど極端に減り、

はんこ業界も風前の灯火で、今までの産業が消滅の危機にあります。

しばらくは元の生活には戻らないと思われます。ポストコロナの新しい生き方を考えていかなくてはなりませんね。(本田 健 「この冬、コロナウィルスは再び人類を襲うのか」参考) (たまなは)

ポストコロナ時代に向け企業が取り組むべき5項目

